

- 問1 幕末、長州藩は下関での外国船砲撃とその報復を受けて攘夷の限界を知り、薩摩藩もイギリスとの戦争を経て近代化の必要性を痛感しました。当初は対立していたこれら両藩を、土佐藩出身の坂本龍馬らが仲介して結ばせた軍事同盟の名称として適切なものはどれですか。 (2018年 和歌山県公立入試 類似)
1. 薩長同盟                      2. 公武合体                      3. 尊王攘夷                      4. 版籍奉還
- 問2 1858年に日本がアメリカと結んだ日米修好通商条約には、日本にとって不利な内容が含まれていました。そのうち、日本国内で罪を犯した外国人を、日本の法律ではなくその国の領事が自国の法律で裁く権利を認めたものを何といいますか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
1. 領事裁判権                      2. 関税自主権                      3. 租借権                      4. 最恵国待遇
- 問3 19世紀後半のアメリカ合衆国では、貿易政策や奴隷制をめぐる国内が二分されました。この対立から発展した南北戦争の最中に、第十六代大統領として「奴隷解放宣言」を出し、最終的に北部の勝利へと導いて合衆国の統一を維持した人物は誰ですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
1. セオドア・ルーズベルト                      2. ジョージ・ワシントン                      3. ジョン・F・ケネディ                      4. リンカン
- 問4 幕末の政局において、尊王攘夷運動の中心となった藩が1863年に下関海峡を通過する外国船を砲撃したものの、翌年にイギリス・フランス・アメリカ・オランダの四力国連合艦隊による報復攻撃を受けた出来事に関連して、この砲撃を行った藩の名称として正しいものを選びなさい。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 肥前藩                      2. 薩摩藩                      3. 土佐藩                      4. 長州藩
- 問5 江戸幕府が結んだ不平等条約において、日本が「領事裁判権（治外法権）」を認めたことで生じた具体的な問題点として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
1. 日本が特定の国に対して有利な条件を与えると、他の国にも自動的に同じ条件を認めさせられた。                      2. 日本に輸入される外国製品に対して、日本側が自由に高い関税をかけることができなくなった。                      3. 外国人が日本の土地を永久に借り受け、そこを自国の領土のように扱うことを認めさせられた。                      4. 日本国内で外国人が犯罪を犯しても、その国の領事による甘い判決しか下されない恐れがあった。
- 問6 19世紀半ば、江戸幕府が長年続けていた「異国船打払令」を緩和し、新たに「薪水給与令」を出した直接的な理由として最も適切なものはどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. アヘン戦争で大国である清がイギリスに敗北したことを知り、欧米諸国との武力衝突を避ける必要があったため。                      2. 清との長年の貿易を維持するために、イギリスからの抗議を全面的に受け入れる決定をしたため。                      3. ベリーが浦賀に来航し、武力を背景に開国と通商を強く要求してきたため。                      4. 産業革命を終えた日本が、欧米諸国との積極的な貿易によって富を蓄えようと考えたため。
- 問7 1861年から始まった南北戦争において、リンカーン大統領が1863年に「奴隷解放宣言」を出し、同年のゲティスバーグでの演説で民主主義の原則を訴えた大きな理由として、適切な説明はどれですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
1. アジアへの進出を目的として、アメリカ国内の軍勢力を一時的に縮小させるため                      2. 南部の独立を正式に承認し、北部の領土を縮小して戦争を早期に終結させるため                      3. イギリスやフランスなどのヨーロッパ諸国を、南部の軍事同盟として引き込むため                      4. 北部が掲げる「自由」や「民主主義」という大義名分を明確にし、国内外の支持を固めるため
- 問8 江戸時代の幕末、大老として朝廷の許可を得ないまま日米修好通商条約を結んだ人物は誰ですか。 (2022年 青森県公立入試 類似)
1. 水野忠邦                      2. 徳川慶喜                      3. 井伊直弼                      4. 勝海舟
- 問9 1858年に調印された日米修好通商条約に基づき、日本は五つの港を外国に開くことになりました。この五港のうち、2019年にラグビーワールドカップの会場となった十二の都市（札幌、釜石、熊谷、調布、横浜、袋井、豊田、東大阪、神戸、福岡、大分、熊本）にも含まれている都市の組み合わせとして、正しいものはどれですか。 (2019年 奈良県公立入試 類似)
1. 新潟と札幌                      2. 長崎と函館                      3. 横浜と神戸                      4. 福岡と熊本
- 問10 近代以降の日米関係を記した年表において、1858年の出来事として「井伊直弼が日米修好通商条約を結ぶ」という記述がある。この時の状況について述べた文として正しいものはどれか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 勝海舟が全権大使としてワシントンへ渡り、アメリカ大統領と直接調印した。                      2. 老中の水野忠邦が、アメリカからの要求を拒否するために結んだ同盟である。                      3. 大老が朝廷の許可を得ないまま調印したことが、幕府への批判を強める要因となった。                      4. 朝廷から正式に条約締結の命令が下されたため、国内の混乱は最小限に抑えられた。
- 問11 幕末の貿易において、日本を開国させた当事国であるアメリカの貿易シェアが急速に低下し、代わってイギリスが圧倒的なシェアを獲得した背景として、当時のアメリカ国内の状況を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)
1. 産業革命の進展が遅れ、日本に輸出するための工業製品が不足していた。                      2. 江戸幕府ではなく、薩摩藩や長州藩などの有力な雄藩との個別貿易を優先した。                      3. アヘン戦争に敗北した影響で、東アジアにおける外交権を失っていた。                      4. 国内で南北戦争が勃発し、国外への貿易に注力する余裕がなくなった。
- 問12 18世紀後半から始まった産業革命によって、世界に先駆けて工業化を成し遂げたイギリスは、圧倒的な工業生産力を背景に世界中に工業製品を輸出しました。当時のイギリスの地位を象徴する呼び名として最も適切なものを選びなさい。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
1. 太陽の沈まぬ帝国                      2. 欧州の火薬庫                      3. 世界の工場                      4. 自由貿易の先駆者
- 問13 1858年、江戸幕府がアメリカの総領事ハリスの要求を受け入れ、大老の井伊直弼によって結ばれた条約について、正しい名称を選びなさい。この条約では、函館・神奈川・長崎・新潟・兵庫の五つの港を開くことや、貿易を開始することが定められました。 (2019年 高知県公立入試 類似)
1. 日米修好通商条約                      2. 日英通商航海条約                      3. 日朝修好条規                      4. 日米和親条約